

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共下水道整備事業(汚水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市 下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 13 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なる		終期	未定
(小項目)					
施策	3	生活排水対策の推進			
基本事業	1	公共下水道事業の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 第1期・第2期事業区域(斎田・南浜・小桑島・大桑島・小桑島・黒崎)の一部						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共用水域の水質改善を図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	第2期事業区域のうち、大桑島、黒崎地区の整備を進める。 「鳴門市汚水処理構想」の見直しを実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		下水道普及率	9	9.5	10	10.5	11	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用して、下水道整備に係る管渠築造工事・舗装復旧工事、「鳴門市汚水処理構想」の見直しに着手した。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
活動指標	1	整備面積	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
	2		125.1	141.3	139.0	146.0	153.0	ha
成果指標	下水道普及率		8	8.8	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			92.6	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		106,000	0	197,100	8,265	(7,585)	303,780
		全体予算額		191,960	0	277,300	8,265	1,296	478,821
		決算額		138,815	0	171,164	10,943	0	320,922
		繰越額		58,500	0	92,400	0	6,794	157,694
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		4.0	0.0	27,436		348,358			

【事務事業名：公共下水道整備事業(污水)】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	483,009	320,922	314,689	314,689	314,689
	うち一般財源	(18,491)	0	66	66	66
	人件費	26,068	27,436	27,436	27,436	27,436
	総事業費	509,077	348,358	342,125	342,125	342,125

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	「鳴門市汚水処理構想」及び「鳴門市生活排水対策推進計画」に長期目標を定めている事業である。 関係機関との協議に長期を要するため繰越はあるが、国庫補助金の内示額を含め、概ね効率的であった。
	効率性	B:概ね効率的だった	
②成果に対する評価	指標名	下水道普及率	
	目標	9.5	%
	実績	8.8	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価		B	有効性、効率性、目標である下水道普及率の達成状況からB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「汚水処理構想」は、社会情勢の変化等に合わせて適宜見直しを実施しながら事業を進めていくことになる。 本市の公共下水道事業は、県と旧吉野川流域地区の2市4町で構成された「旧吉野川流域下水道」として広域的に実施している事業であり、見直しについては県と関連市町とも十分な協議が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模にて、下水道整備を進めていく。			
	平成29年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模にて、下水道整備を進めていく。			